

ケミフィット™CSEシリーズ 取扱説明書

1 準備

チューブカッターとサイズに合った取付工具、シールテープをご用意ください。



(参考)

- ① チューブ専用カッターにはチューブサイズに合わせて、TC01、TC04、HC03、HC01をご使用ください。適用チューブサイズは【表1】を参照ください。

- 注意** チューブカッターを使用しない時は、刃先を広げたままにしないでください。
- 注意** 継手とチューブは、配管状況の仕様を満足することをご確認ください。製品の選定を誤ると非常に危険な場合があります。

【表1】チューブカッター適用チューブサイズ

チューブカッター 品 番	適用チューブ 外径サイズ (mm)
TC01	～13 (1/2inch)
TC04	～16 (5/8inch)
HC03	～20 (3/4inch)

2 シールテープの巻付け (再取付け)

シールテープは、ねじ部を1～2山空け、巻き方向に注意して2～2.5回転させて巻き付けてください。



- 注意** 継手本体を再取り付けする場合は、ねじ部に残ったシールテープを取り除き、再度新しいシールテープを巻きつけてください。古いシールテープが残っていると、機器内に混入し、不具合の原因となることがあります。

3 継手本体の取付け

継手は、サイズに合った取付工具を用いて【表2】の推奨締付トルク範囲内で締め付けてください。



- 注意** ねじ部が焼き付く可能性がありますので、ゆっくり締め付けるようにしてください。

【表2】ケミフィットCSEシリーズ推奨締付トルク

ねじサイズ (JIS B 0203 : 1999)	推奨締付トルク (N・m)
R1/8	3.0～5.0
R1/4	7.0～9.0
R3/8	18.0～20.0
R1/2	20.0～22.0

4 チューブの切断

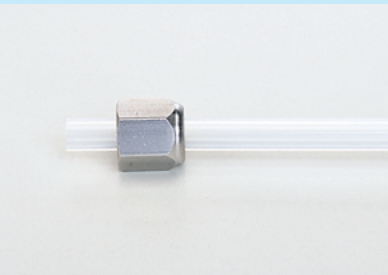
チューブカッターで、直角に切断してください。チューブの切断前にチューブ表面の汚れを拭き取り、へこみや傷、つぶれがないものを選定してください。



- 注意** チューブ切断部分に汚れ、へこみ、傷、つぶれ、バリ、毛羽立ちなどがないようにカットしてください。また、チューブを斜めに切断しないでください。漏れの原因となります。

5 アセンブリナットの挿入

チューブにナットのねじ部がチューブ端面を向くようにアセンブリナットを挿入してください。



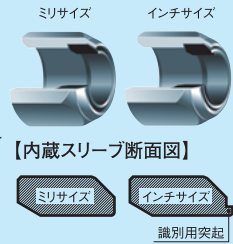
6 チューブの挿入

チューブを継手本体の奥に当たるところまで押し込んでください。



(参考)

- ① チューブ挿入長さは【表3】に記載しています。参考にしてください。
- ② ケミフィットCSEシリーズのミリ・インチの区別は、右図のように内蔵スリーブ先端に突起を設けて識別しています。



- 注意** 当社以外のチューブを接続する場合は、チューブの外径公差が±0.1mm以内のものをご使用ください。寸法公差を満足していない場合、漏れなどの原因となります。
- 注意** チューブが継手本体の奥に当たっていないと漏れやチューブ抜けの原因となります。

【表3】ケミフィットCSEシリーズチューブ挿入長さ

適用チューブサイズ 外径×内径 (mm)	チューブ挿入長さ (mm)
4×2	5.5
6×4	7.0
8×5	7.5
8×6	7.5
10×6.5	8.5
10×8	8.5
12×9	10.0
12×10	10.0
19×16	12.5
6.35×4.57 (1/4inch) *	7.0
9.53×6.99 (3/8inch) *	8.5
12.70×9.56 (1/2inch) *	10.5

※チューブ外径サイズ

7 ナットの手締め

アセンブリナットを手で一杯に締め付けてください。



8 ナットの締付け

手締めで固定されたアセンブリナットをスパナまたはモンキレンチを用いて、継手本体に当たるまで締め付けてください。



9 完了

アセンブリナットが継手本体と当たっていれば、アセンブリは完了です。



10 チューブの再取付け

チューブ先端を切り落とし、「4.チューブの切断」からもう一度繰り返してください。チューブ表面に汚れ、へこみや傷、つぶれがないことを確認してください。

(参考)

- ① アセンブリナットを再使用する場合は、内蔵されているスリーブに損傷がないかご確認ください。損傷したアセンブリナットを使用すると漏れなどの不具合の原因となります。

- 注意** チューブの取り外しを行う場合は必ずチューブ内の圧力をゼロにしてください。
- 注意** 内圧や熱などにより、チューブ内外径に変化がある場合はチューブも新品と交換してください。